

令和6年度介護テクノロジー定着支援事業費補助金 昨年度からの主な変更点

変更内容	令和5年度			令和6年度		
事業	介護ロボット	ICT	パッケージ型導入 (介ロボ+ICT)	介護ロボット	ICT	NEW パッケージ型導入 (介ロボ+ICT)
補助率	1/2 (補助基準額と比較して少ない方)			3/4 (補助基準額及び上限額と比較して少ない方)		
補助上限台数	定員の2割	—	R6年度新規	定員の5割	—	左記の各基準と上限を適用し、 最大1,000万円 (介護ロボット合計740万円、 ICT最大260万円)
補助基準額	1台あたり、 ①「移乗支援(装着型・非装着型)」、 「入浴支援」100万円 ②それ以外30万円	10名以下 100万円 11~20名 160万円 21~30名 200万円 31名以上 260万円		1台あたり、 ①「移乗支援(装着型・非装着型)」、 「入浴支援」、 その他で示す機器等100万円 ②それ以外30万円	(変更なし) 10名以下 100万円 11~20名 160万円 21~30名 200万円 31名以上 260万円	
補助上限額	なし			合計740万円		

補助率をかけた後の金額と補助基準額および上限額を比較して少ない方

(申請例)	事業所の情報	申請機器	補助対象経費 (税抜)	単価計算	補助基準額と補助対象経費×3/4 を比較して少ない方および上限額	補助額
介護ロボット導入	定員50名の特別養護老人ホーム (補助上限台数25台、 補助基準額30万円)	移動支援機器20台	1台60万円	60万円×3/4=45万円	1台あたり30万円 補助上限額740万円	30万円×20台=600万円
ICT導入	職員数15名の訪問介護事業所 (補助基準額160万円)	①介護ソフト ②タブレット5台	①8万円 ②1台12万円×5台	①8万円×3/4=6万円 ②1台12万円×3/4=9万円	①ソフト6万円 ②タブレット9万円 補助上限額160万円	①ソフト6万円 ②タブレット 9万円×5台=45万円
パッケージ型導入	定員100名、職員数40名の介護老人保健施設 (介ロボ補助上限台数50台、 補助基準額30万円、 ICT補助基準額260万円)	パターン1例 ①見守り機器50台(介ロボ) ②見守り機器導入に伴う通信 環境整備(ICT)	①1台20万円×50台 ②400万円	①1台20万円×3/4=15万円 ②400万円×3/4=300万円	①1台あたり15万円 補助上限額740万円 ②補助上限額260万円	①見守り機器 740万円 (15万円×50台=750万円のため) ②通信環境整備260万円
		パターン2例 ①入浴支援機器5台(介ロボ) ②介護ソフト(ICT)	①1台120万円×5台 ②8万円	①1台120万円×3/4=90万円 ②8万円×3/4=6万円	①1台あたり90万円 補助上限額740万円 ②6万円 補助上限額260万円	①入浴支援 90万円×5台=450万円 ②ソフト6万円